

陰陽五行論壇Contents

三業干支

三業干支(さんごうかんし)

- 三代にわたって作った干支。
- 前世の業(=因縁)を引きずっている。
- 場所によって現象の現れ方が異なる。

③	②	①
○	○	○
○	○	○

- ① 年干支はあまり現象が出ない
- ② 月干支は年を取るにつれて
じわじわ現象が出てくる
- ③ 日干支は強く、すぐに現象が表れる

- 業を通り過ぎると(業の現象が表れると)
その後、運勢が上がる。
 - 例えば乙巳であれば、人から騙されると
いう業があり、実際に人から騙される体験をすると
運勢が一挙に上がっていく。

三業干支(さんごうかんし)

- 業を持っている人には、共通の資質があり目に見えないものを直感的に見抜く力が出てくる(靈力がある)。
- 六十干支中、各干に二つずつ該当するものがある。

干	①	②	業の名称
甲	甲子	甲辰	不族(ふぞく)の業
乙	乙巳	乙酉	祇王(ぎおう)の業
丙	丙戌	丙辰	不信(ふしん)の業
丁	丁未	丁丑	徳攻(とくこう)の業
戊	戊戌	戊辰	參籠(さんろう)の業
己	己巳	己酉	倒柱(とうちゅう)の業
庚	庚戌	庚辰	傷体(しようたい)の業
辛	辛未	辛丑	一人業(ひとりごう)の業
壬	壬子	壬辰	不子(ふし)の業
癸	癸亥	癸酉	倒異(とうい)の業

①と②では業の稼働が始まる時期に違いがある。

①生まれてすぐに稼働
②中頃(45歳ごろ)から稼働

不族(ふぞく)の業

- ①甲子、②甲辰
- 婚姻関係に欠陥を生じ、人生で波乱・動乱が多い。
- 結婚してから、その現象が出る。
- 正常な結婚生活の場合、子供ができるないか
女の子ができるやすい。
- 悠久家系(長く続いている家)の最後
(家系が自分の代で終わり、途絶える)。
- 平凡な家系に生まれた場合は、子供の夭折
(40才までの死)、突然死、親の突然死。
- 集団の中に長く居れない現象が不族の業。

祇王(ぎおう)の業

- ①乙巳、②乙酉
- 性格が素直すぎて、他人に欺されやすい。
- 正反対の結婚観で、数婚になりやすい。
- 婚姻関係に問題が生じる業。
- 結婚して深刻な問題を乗り越えると、一度の結婚で安定する。
- 晩年は業が消えて、苦労は無く平穏な人生となる。
- 女性は晩婚で吉。

不信(ふしん)の業

- ①丙戌、②丙辰
- 人生で最も大切なときに、他人から裏切られる(両親を含む)。
- 裏切られた都度、心が強まり、強運に恵まれる。
- 他人を信じられず、孤独の森の中で不信感が一生続く。
- 執着を捨てて、無我の境地で前進すること。

徳攻(とっこう)の業

- ①丁未、②丁丑
- 先祖の徳が強すぎ、徳が攻めてきて(人が寄つて来て)慇懃無礼(いんぎんぶれい)※に感じる。
※ 慇懃無礼とは、表面は丁寧で礼儀正しいように見えるが、実は尊大で無礼なこと。または、その様。
- 周囲から好感を持たれ、大勢に担がれて運を上げるが、心に虚しさが残る。
- 男性の場合、女性の情に弱い。
- 人生の後半で別宅を所有(特に日干にある場合)。
→愛人を持つてしまう。

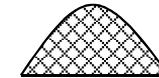
参籠(さんろう)の業

- ①戊戌、②戊辰
- 参籠=祈願の為、神社や寺院等に、ある期間籠もる事。
- 人生を平凡に過ごすと、運気は限りなく下がる
(天才的な人)。
- 周囲に理解者は無く、孤独の囚人。配偶者が離婚しない。家から出れない。自由が無い人生。
- 心身ともに何かに捉われ身動きが出来ず、努力が周囲から理解され難い傾向が出る。
- 男性は50代、女性は40代で精神異常になる確率が高い。
- 20代で一度、その傾向が出る。特に戊戌が精神病を成り易い。

※母親の育て方によって発病するかどうかが決まる

母親が思った事と言っている事が違うなど、矛盾を抱えている場合
子供は直感的にそれが分かり、どうして良いか分らず、発病しやすい。

参籠のイメージ



竹かごのようなもの

倒柱(とうちゅう)の業

- ①己巳、②己酉
- 单子(一人っ子)が多く、男女を問わず、運が強い。
- 無欲が特色で、出世欲がなく、人生を淡々と過ごすと吉。
- 親の代は富貴。それを継承すると本人は苦しい。
- 実家を破産、大黒柱を倒すと本人は伸びる。

傷体(しようたい)の業

- ①庚戌、②庚辰
- 人生を平凡に過ごすと、運気は限りなく下がる。
- いじめ、大怪我、障害、荒行等で、身体に傷が残ってしまう時に運が伸びる。
- 自殺未遂で運が伸びる(先祖に事故死または自殺者がいる)。

一人業(ひとりごう)の業

- ①辛未、②辛丑
- 未婚、独身で財運を得て、結婚すると崩壊する。
- 家系の恩恵大で、成功は財(祿分)で名誉(官分)は無し。
- 男性は結婚に失敗しやすく、数回の結婚暦で運気(財運)上昇。
- 女性は夫との離別か夫の死後、一気に運(財運)が上昇するが、再婚すると運気が下がる。
- 辛丑の方が年齢と共に業の力が強くなる。
- 辛未は速攻で鮮明に現れる。
- 全部自分一人でやってしまわなければならない業。

改良

社長は北の部屋に入る、もしくは、北の席に座る事で改良できる。

※北方=支配者の場所

不子(ふし)の業

- ①壬子、②壬辰
- 逆縁(子供が先に死ぬ、夫婦の年齢差)、自分と
縦線の直系が途絶えて、孤独になる。
- 兄弟姉妹は残るが、子供の事故死、瞬間死の
可能性大。
- 子供との縁が薄く、自分の思い通りにならない
子供が生まれる傾向にある。

倒異(とうい)の業

- ①癸亥、②癸酉
- 自分と異質なものを倒す、業の中でも特に厄介な業とされている。
- 本人が男性の場合、息子の嫁を倒すか、嫁の逃亡、死亡、事故死を引き起こす。
- 本人が女性の場合、息子の嫁を追い出してしまうが、男性程は強く出ない。
- 本人が社長の場合、社員の妻の病死、事故死、禍が発生。
- 外から来た異性を倒す業。
- 自分自身の家庭運は良いが、子供の結婚相手などに不運が生じやすい。